

令和7年3月24日現在

令和7年度 全体の計画 クラス別の年間目標														
※療育及び保育 (個別が中心に活動して 指導する年度)	資質・能力の3本の柱	(乳児)かかわりの3つの視点	指針のねらい (心情・意欲・知度)	ちっち組 年間目標	01-0200 0200	指針のねらい (心情・意欲・知度)	くんくん組 年間目標	にこにこ組 年間目標	03-0300 0300	指針のねらい (心情・意欲・知度)	わいわい組 年間目標	らんらん組 年間目標	すいすい組 年間目標	幼児期の終わりまでに 育ってほしい10項目
	ア 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようにしたりする 「知識及び技能の基礎」	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を培う。	(1) 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。 (2) 伸び伸びと体を動かしたり、はう、歩くなどの運動をしようとする。 (3) 食事、睡眠等の生活リズムの感覚が芽生える。	・心地よく、発達にあつた環境の中で、心身ともにのびのびと過ごしている。	健康	(1) 明るくのびのびと生活し、穏やかな動きをしようとする。 (2) 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣に気付く。自分で試してみようとする気持ちが育つ。	・自分の思いや気持ちをはたつたり表現しながら、それを十分に受け止めてもらって、自分の気持ちに気付いていく。	・集団の中で一人ひとりが大切にされることで、自分でやりたいという意欲が育ち、食事・排泄・清潔・衣類の着脱などの基本的な生活習慣が身に付く。	健康	(1) 明るくのびのびと行動し、充実感を味わう。 (2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。	・わらす組の生活に慣れていきながら、習慣や態度を身につけていく。 ・身の回りの環境(空間/物/人)と関わりながら、自分で気付いたり考えたりしてやってみようとする。	・友達と一緒に全身を使った遊びを楽しみ、運動する心地よさを十分に味わう。 ・自分の体を大切に、適切な休息や食事など、自分に必要な選択を身に付けて行く。	・自分の好きなことや得意なことを深め、自分に自信をつける。 ・健康や安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しを持って行動する。	ア 健康な心と体
※乳児は三つの視点、幼児は5つの領域で区分されている基本的な事項を十分に参照。	イ 気付いたことや、できるようになったことなどを思い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする 「思考力、判断力、表現力等の基礎」	身近な人と気持ちが通じ合う 受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基礎を培う。	(1) 安心できる関係の中で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 (2) 体の動きや表情、非言語的により、保育者等と気持ちを合わせようとする。 (3) 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。	・温かく応答的なかわりのもと、自分の気持ちを表現し、保育者や友だちなど身近な人と心が通いあう喜びを感じている。	人間関係	(1) 保育所での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 (2) 周囲の子とも育への興味や関心が高まり、関わりを持つようとする。 (3) 保育者の生活の仕方に関わり、まよりの大切さに気付く。	・友だちとの関わりの中で、少しずつ相手の気持ちにも目を向けて、やりとりしてみようとする。	・友達との関わりの中で他者とのぶつかり合いも経験しつつ、言葉で伝え合いながら一緒に過ごすことの楽しさをたつたりと味わう。	人間関係	(1) 保育所での生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 (2) 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	・さまざまな友だちと関わりながら、それぞれの関係性を結び、お互いの良さや協力し合う喜びを知っていく。	・友だちとの対話を重ねながら、相手の気持ちに気付いていく。	イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活との関わり	
	ウ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする 「学びに向かう力、人間性等」	身近な環境に興味や好奇心をもつて関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基礎を培う。	(1) 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 (2) 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 (3) 自分の諸感覚に認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。	・探索活動を通して、様々なものとの出会い、気付いたり試したり、繰り返し関わりながら、探究する面白さを味わう。	言葉	(1) 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 (2) 人の言葉や話などを聞き、自分で思ったことを伝えようとする。 (3) 絵本や物語等の親しみとともに、言葉ややり取りを通じて身近な人と気持ちを合わせようとする。	・一人ひとりが安心して園生活を送る中で自分の思いを言葉で伝えたり、好きなことを見つけてお友達との世界が広がっていく。	・一人ひとりが安心して園生活を送る中で自分の思いを言葉で伝えたり、好きなことを見つけてお友達との世界が広がっていく。	言葉	(1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 (2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝えあう喜びを味わう。 (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになることと、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する意欲や言葉で表現する力を養う。	・さまざまなやりとりの中で言葉への感覚を豊かにし、心地よい言葉を選んで使ってみようとする。	・心地よい言葉のやり取りと出会い、伝え合う楽しさが十分に味わえる生活を作る。	・ミーティング等の話し合い(対話)を大切に、自分たちで生活をつくりあげようとする。 ・心地よい言葉を知り、美しい言葉を獲得しながら、身近な人と気持ちを合わせる。	カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、規範や文字などへの関心・感覚
※要項上は乳児と満1歳に区分されているので、満1歳を過ぎた場合は1歳児の5領域を参照。 ※2歳児は、満3歳児の誕生日を迎える前は保育、それ以降は教育及び保育に位置づけられる。					環境	(1) 身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。 (2) 様々なものに関わり、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 (3) 見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。	・一人ひとりに合った環境の中で、身の回りのことややってみようとする。 ・興味・関心をもつて関わり、それらを生きて取り入れていくことと自分の世界を広げていく。	・心に湧き上がる「なぜ?」「どうして?」などの興味・関心をじっくりと探究し、遊びに取り入れていく。	環境	(1) 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。 (2) 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたり、それを生活に取り入れていくことと自分の世界を広げていく。 (3) 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりすることで、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	・様々な環境やその中で経験を通して、じぶんの好きなことを見つけ、じっくりと探究していく。	・様々な事象に興味・関心を持ち、友だちと気付きを共有したり、探究したりする。	・身の回りの自然や様々な事象に興味・関心を持ち、友だちと気付きを共有したり、探究したりする。	コ 豊かな感性と表現
					表現	(1) 身体や諸感覚の経験を通じて、様々な感覚を味わう。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現しようとする。 (3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	・身近な環境に触れた感覚や気づき、触れ合いや遊びなどで生じた気持ちを外に表す。	・感じたことや気づいたこと、考えたり試したことと生まれるイメージを十分に楽しむ。	表現	(1) いろいろなもの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	・身近な自然や生き物、素材、食、音楽、身体的な活動など、さまざまな事象や活動との出会いを通して、イメージや感覚を豊かにする。	・自然、生き物、音楽、素材など十分に触れ合い、そこで生まれる質感などの感覚をじっくりと味わいながら、多様な表現を楽しみ、自分の世界を広げていく。		